

令和8年度中期昇段審査会の結果概要について

1 段位別受審者及び合格者数

	初段	弐段	参段	計
受審者	28	11	1	40
合格者	15	10	0	25

2 講評要旨（栗原 和包審査員）

- 初段のうちに、すり足での移動や真っすぐな姿勢などに気を付けて練習すること。
- 弐段の受審者は、組手はスピードがあって良かったが、基本と形の移動時に足裏が浮くのが目立った。
- 足指ではなく踵を中心に方向転換すること。また、移動時に音が鳴らないようすり足に注意すること。
- 手の力だけではなく、腰の回転を速くして突くことで技の威力が高まる。
- 一生懸命に練習すれば人格完成につながるので、これからも長く空手道に励んでほしい。

3 段位別受審者の形の選択状況

（1）初段

抜塞大	観空大	燕飛	慈恩	計
19	5	2	2	28
68%	18%	7%	7%	100%

（2）弐段

選定形

抜塞大	燕飛	計
4	7	11
37%	64%	100%

得意形

慈恩	観空大	燕飛	計
8	2	1	11
73%	18%	9%	100%

（3）参段

選定形

抜塞大
1
100%

得意形

慈恩
1
100%